

舞鶴市郷土資料館出張展示 「鎮守府と中舞鶴」

舞鶴市郷土資料館 学芸員
小室 智子

舞鶴市郷土資料館では2019年2月13日(水)より3月3日(日)まで「鎮守府と中舞鶴」と題する展示を赤れんがパーク3号棟(智恵蔵)特別展示室で開催した。

江戸時代には田辺と呼ばれた舞鶴は城下町を中心に発達してきた。町といわれる地区はこの田辺城下町と市場などごくわずかな地域でほとんどは農山漁村である。そのような舞鶴の余部下地区に鎮守府設置が決まるとその周辺に市街地が建設されたのである。建設当初「余部鎮守府」といわれたように鎮守府の西側に広がる余部下・余部上・長浜・和田の4地区は、海軍軍用地となる面積も大きく最もその影響を受けた地域である。この4地区は、古来長浜地区にある高倉神社の氏子であり、1876(明治9)年余部校(現中舞鶴小学校)を設置して共に学んでいた地域である。1901(明治34)年舞鶴鎮守府が開庁したことにより、人口1500人程の村が10000人を超える町になったのである。鎮守府開庁の翌年には人口が倍となり、この4地区で余部町を設置した。さらに1919(大正8)年には人口12000人を超え、中舞鶴町となった。また鎮守府の東側に位置する浜村にも、鎮守府設置によって舞鶴に住むこととなる海軍軍人や軍属・工廠関係者やその家族のための市街地が建設されたのである。当時は現在の東地区にあたる新市街を新舞鶴、現在の西地区で旧来の城下町を舞鶴、地理的にその中間に位置する現在の中地区を中舞鶴と呼んだのである。

この中舞鶴地区の歴史を語る余部上地区の庄屋井上奥本家文書の目録が2018年・2019年のACTRによって完成した。このACTRは舞鶴地方史研究会が提案し、京都府立大学文学部歴史学科東昇准教授の指導のもとに行われたものである。舞鶴市郷土資料館ではこの調査に協力し、当館が所蔵する余部下地区の布川家文書や瀬野家文書、長浜地区の梅垣家文書などとともに、今回の成果の一部を企画展「鎮守府と中舞鶴」として紹介した。内容は、鎮守府開庁以前の中舞鶴、鎮守府、市街地造成、道路建設、軍や工廠主催のイベントなどであり、展示数45点である。特に井上奥本家所蔵の鎮守府建物の外観図や間取り図、館蔵布川家文書の道路や市街地設計図など貴重なものである。また、井上奥本家の『餘部案内』(当時の余部町の概要を記した出版物)は当館にもなかったもので、その中の「構内観覧手続」は昨年ACTRで実施したシンポジウム「海とともに生きる舞鶴―丹後の海再考」の中で上杉和央准教授が紹介したものの同様に軍港内を観覧する時の手続き法である。

今回の調査で余部上と余部下の両庄屋の文書が揃ったことになり、さらに中舞鶴地区の歴史が分かってきたのである。鎮守府開庁によって大きく変貌する中舞鶴の姿を是非企画展にしたいと考え、所蔵者である井上奥本家に相談した所、快諾を得、今回の展示となったのである。文書所蔵者である井上家ははじめ舞鶴地方史研究会、府立大学、当館

に文書を寄贈していただいた布川家・瀬野家・梅垣家、その他たくさんの方々の協力で今回の企画展を開催できたことに深く感謝している。

今回展示できたのは井上奥本家文書約 3500 点、布川家文書約 3500 点のうちの極一部である。これを機にさらに研究が深まれば幸いである

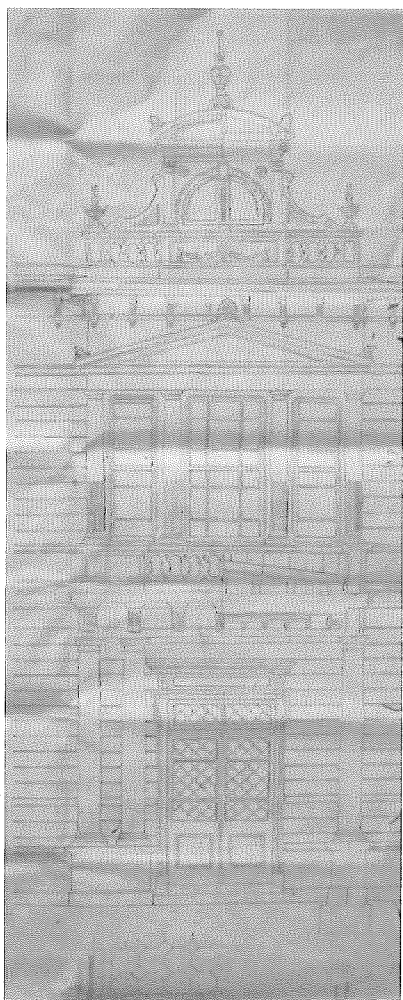


写真1 鎮守府正面外観図（井上奥本家文書）



写真2 鎮守府本部絵葉書（舞鶴市郷土資料館蔵）

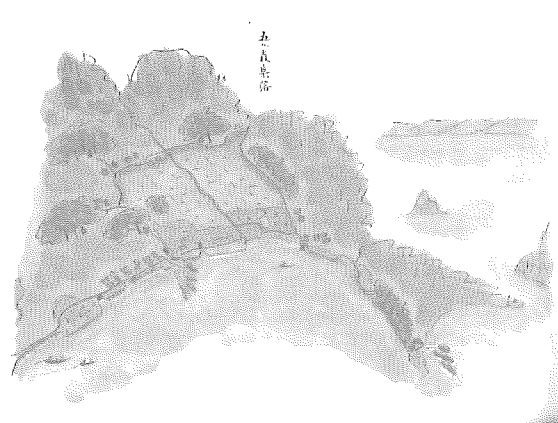


写真3 全戸軍施設設置のために移転させられた長浜地区五森の風景画（館蔵梅垣家文書）



写真4 展示の様子
「鎮守府設置前の中舞鶴」

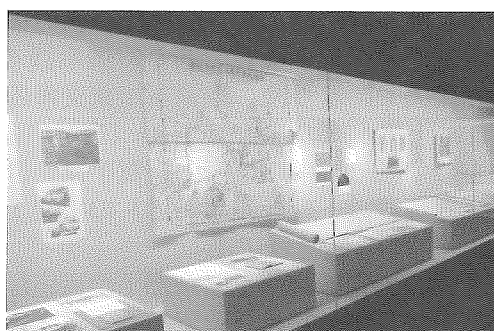


写真5 展示の様子
「戦後の中舞鶴」

舞鶴市郷土資料館出張展示「鎮守府と中舞鶴」展示目録

テーマ	表題	年	所蔵	
古文書調査	[手紙]	明治 38 年 (1905)	井上奥本家蔵	
	[ビスケットの中包紙]		井上奥本家蔵	
	古文書調査風景写真			
鎮守府設置前 の中舞鶴	京都府加佐郡余部付近之図	明治 39 ~大正初期	館蔵	
	雲門寺写真コピー	昭和 13 年 (1938)	館蔵	
	高倉神社写真コピー		館蔵	
	五ツ森想い出の画集コピー	平成 7 年 (1995)	館蔵梅垣家文書	
	丹後国加佐郡町在日記	享保 16 年 (1731)	館蔵布川家文書	
	[余部上村下村山論裁許絵図]	宝暦 10 年 (1760)	館蔵	
	作方年中行事	文化 10 年 (1813)	井上奥本家蔵	
鎮守府設置	軍港市街記	明治 29 年 (1896)	井上奥本家蔵	
	本字新市街契約書	明治 29 年 (1896)	館蔵布川家文書	
	呉佐世保視察書	明治 31 年 (1898)	館蔵布川家文書	
	鎮守府玉座正面	明治 33 年 (1900)	井上奥本家蔵	
	舞鶴鎮守府家屋营造物配置図其 2	明治 44 年 (1911)	海上自衛隊 舞鶴地方 総監部蔵	
	初版舞鶴鎮守府例規全	明治 35 年 (1902)	井上奥本家蔵	
	鎮守府建物外観・間取り図		井上奥本家蔵	
	鎮守府絵葉書コピー		館蔵	
	舞鶴水交社西洋館新築図		井上奥本家蔵	
	水交支社絵葉書コピー		館蔵	
	市街地建設	加佐郡餘部町餘部上地図		館蔵布川家文書
		余部上本町通写真コピー		館蔵布川家文書
		余部上本町通写真コピー		館蔵布川家文書
加佐郡餘部町字餘部下新市街地図			館蔵布川家文書	
余部下本町通写真コピー			館蔵布川家文書	
引き札 (舞鶴軍港餘部上本町 3 丁目高見商店)			井上奥本家蔵	
女髪結営業届		大正 3 年 (1914)	館蔵瀬野家文書	
興行届		明治 37 年 (1904)	館蔵瀬野家文書	
観物御届		明治 37 年 (1904)	館蔵瀬野家文書	
中舞鶴共楽公園絵葉書		昭和 11 年 (1936)	館蔵	
道路建設	『(矢谷・深田・由里ノ下設計埋立計画図)』		館蔵布川家文書	
	道路開鑿之義ニ付稟請	明治 35 年 (1902)	井上奥本家蔵	
	和田湾ヨリ鎮守府ニ達スル街道 道路開鑿 工事設計書 加佐郡餘内村	明治 33 年 (1900)	館蔵布川家文書	
	軍港附近道路開通式順序コピー	明治 35 年 (1902)	井上奥本家蔵	
	中舞鶴小学校運動場地鎮祭紀念写真コピー	昭和 7 年 (1932)	館蔵	
	軍艦行進曲 SP レコード盤		館蔵	
軍のイベント	餘部案内	明治 44 年 (1911)	井上奥本家蔵	
	第 9 駆逐艦進水命名式式場案内図 (コピー)		館蔵瀬野家文書	
	駆逐艦楓進水記念絵葉書		舞鶴市政記念館蔵	
	駆逐艦進水式写真コピー		館蔵	
戦後の中舞鶴	舞鶴市所在国有財産利用図		館蔵	
	旧軍港市転換法	昭和 25 年 (1950)	館蔵	
	海上保安学校一期生写真コピー		個人蔵	
	中舞鶴線写真コピー		館蔵	
	中舞鶴線お別れ列車写真コピー		館蔵	

表紙の解説

	1	2	3
5		4	
(裏)		(表)	

- 1 「舞鶴の歴史アラカルト」パンフレット
- 2 文書蔵出し調査風景 東昇撮影
- 3 舞鶴地方史研究会との共同調査 東昇撮影
- 4 舞鶴クレインブリッジ 松岡秀雄氏撮影
- 5 東舞鶴高校での授業風景 廣瀬邦彦氏撮影

京都府立大学文化遺産叢書 (2008 ～)

- 1 南山城・宇治地域を中心とする歴史遺産・文化的景観の研究
- 2 近世伊予越智島地域における流動する人・物・情報
—御用日記・諸願控の総合的研究—
- 3 八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図—地域文化遺産の情報化—
- 4 八幡地域の古文書・石造物・景観—地域文化遺産の情報化—
- 5 丹後・宮津の街道と信仰
- 6 城陽市域の地域文化遺産—神社・街道の文化遺産と景観—
- 7 熊野の信仰と景観—宗教遺産学の試み—
- 8 石見銀山域の歴史と景観—世界遺産と地域遺産—
- 9 和束地域の歴史と文化遺産
- 10 八幡・南山城地域の寺院資料と信仰—京都府歴史資料調査—
- 11 舞鶴の文化遺産と活用
- 12 「丹後の海」の歴史と文化
- 13 古代寺院の儀礼・経営に関する分野横断的研究
- 14 舞鶴・京丹後地域の文化遺産
- 15 沖縄の宗教・葬送儀礼・戦没者慰霊



京都府立大学文化遺産叢書 第16集
舞鶴の地域連携と世代間交流
井上奥本家文書調査報告

編集 東 昇
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
発行日 2019年3月30日
印刷